

平成 30 年度 事業報告

I. 本部事業

1. 障害児教育の強化増進事業

- ・教育支援委員会に参画 6 回
- ・出石特別支援学校へ講演、学習会等参加 3 回

2. 障害児者とその家族への理解促進・人権擁護推進事業

- ・豊岡市自立支援協議会 9 回
- 豊岡市障害者福祉計画策定委員会 2 回

- ・育成会だよりの発行 800 部 年 4 回発行

第 1 号 6 月 30 日発行

第 2 号 10 月 3 日発行

第 3 号 1 月 31 日発行

第 4 号 3 月 31 日発行

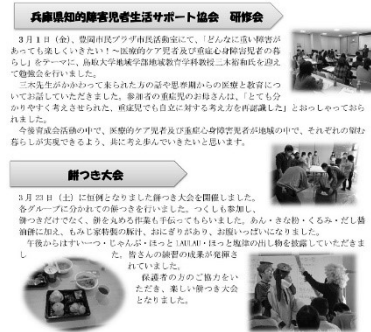
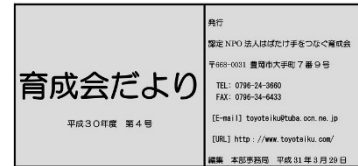
- ・他団体主催の研修活動への派遣

第 62 回兵庫県障害者福祉大会

10 月 18 日 明石市 5 名参加

但馬ブロック研修会

11 月 14 日 朝来市 16 名参加



障害児職業訓練事業（県育成会事業）

1 月 26 日 尼崎市 3 名参加

- ・地域生活支援事業研修会

「どんなに障害が重くても楽しくいきたい！

～医療的ケア児者及び重症心身障害児者のくらし～」

3 月 1 日 豊岡市民プラザ活動室 35 名参加



- ・つくし保護者会研修会
 - 7月11日 7名参加
 - 11月7日 4名参加

3. 障害児者とその家族に係る相談事業

- ・知的障害者相談員2名（豊岡市より受託）による相談業務

4. 障害児者とその家族と市民の交流活動

- ・フェスタはばたけ9th
 - 12月22日 豊岡市民プラザ
 - 人形劇団『クラルテ』、和太鼓演奏、音楽あそび
 - はばたけ縁日、カフェ、アート展、お茶席、アートイベント

5. 障害児者の文化・スポーツ推進事業

- ・本人部会活動

日にち	活動内容	参加人数
4月7日	城崎温泉街散策・映画鑑賞	25名
4月28日	カラオケ	24名
5月3日	出石コインケース作り体験	22名
5月26日	スポーツ&カフェ	24名
6月9日	映画鑑賞	23名
6月23日	グラウンドゴルフ大会	53名
7月14日	カラオケ	25名
7月28日	風鈴作り	24名
8月11日	レクリエーション大会	21名
8月18日	豊岡劇場『インクレディブルファミリー』	24名
9月1日	ボウリング	28名
9月15日	はばたけ縁日	31名
10月6日	スポーツ&カフェ	21名
10月20日	丹後王国『食の都』バーベキュー	29名
11月3日	ボウリング	28名
11月23日	映画鑑賞	19名
12月1日	カラオケ	25名
12月22日	フェスタはばたけ9th	250名
1月19日	人間すごろく遊び	29名
2月23日	カラオケ	22名
3月2日	映画鑑賞	19名
3月23日	もちつき大会	72名





6. 障害児者福祉サービス事業

- ・多機能施設はばたけ（すいーつ 就労継続支援B型・じゃんぷ 生活介護）
- ・ほっと 生活介護
- ・ヘルパーステーションはあと 居宅介護、行動援護、移動支援、重度訪問介護
- ・OHANA「あおー1」 共同生活援助・サテライト「あおぞら」
- ・OHANA「あおー2」「にじ-1」 共同生活援助・短期入所
- ・つくし 障害児通所支援

7. 福祉有償運送事業「くれよん」

登録利用者数	23 名
年間総走行距離数	4,119 km
年間総運行回数	1,087 回

II. 障害福祉サービス事業（日中活動）

基本方針

利用者一人ひとりのニーズを的確に把握し、日中活動を通じて、達成感・充足感を持ち、健康で自立した日常生活又は社会生活を送ることを目指す。

事業報告

1. はばたけ 多機能施設

〈1〉すいーつ 就労継続B型

- ・就労・生産活動に必要な知識・能力向上のための訓練を実施した。
- ・作業を通して、集中力・責任感・主体性や社会性を高め、働くことへの自信・意欲の向上に努めた。
- ・利用者の能力・意欲を引き出すよう指導、配慮及び環境整備を行い、生産力・売上・工賃の向上を図った。

（1）HABATAKE Sweets Café（製菓部）

- ・焼菓子等の製造・販売を行った。
- ・新商品の開発のため、企画・検討を行った。
- ・定期的な販売先の確保のため、積極的にイベントに参加した。



<焼き菓子販売実績>

- ・委託販売先：11 店舗

新たな委託販売先の開拓のため、通常・イベントチラシの配布に注力した。

平成 30 年	4 月 29 日	ソロプチミストチャリティーバザー
	8 月 31 日	日高高等学校 学校祭
	11 月 11 日	わんわんワンワンまるこデー
平成 31 年	3 月 3 日	長寿園「趣味の会」

(2) もみじ家

- ・法人内部への食事の製造・提供を行った。

(3) カフェ業務

- ・店舗再開のための企画・立案を行い、
平成 30 年 6 月 16 日(土)にカフェ店舗をリニューアルオープンした。
- ・集客力増加のため、店舗前看板・情報誌への掲載等の広報活動強化を行った。
- ・定期的な移動販売出店先の確保のため、積極的にイベントへの参加を行った。



<店舗販売実績>

営業日数： 165 日

<移動販売車販売実績>

平成 30 年	4 月 15 日	第 9 回菓子まつり前日祭
	4 月 28 日	絹巻神社 春季大祭
	5 月 3 日	北前まつり
	5 月 27 日	Kannabe Sweets Belle
	6 月 17 日	永楽館
	6 月 24 日	豊岡作業所まつり

平成 31 年	7 月 15 日	八鹿夏祭り
	7 月 22 日	日高夏祭り
	8 月 1 日、2 日	柳まつり
	8 月 4 日	大山ねずの命イベント
	8 月 6 日	城崎ふるさと祭り
	8 月 30 日	豊岡総合高校 学校祭
	9 月 3 日	豊岡高校 学校祭
	9 月 7 日、8 日	出石高校 学校祭
	9 月 21 日、22 日	夢但馬産業フェア
	9 月 28 日	豊岡定時制高校 学校祭
	10 月 20 日	ことぶき苑祭
	10 月 28 日	豊岡短期大学祭 和花季ひろば
	11 月 3 日	出石お城まつり
	11 月 4 日	三方祭り「ふれあいマーケット」
	11 月 10 日、11 日	但馬まるごと感動市
	11 月 25 日	フェスタはばたけ 9th
	3 月 17 日、18 日	出石初午大祭

・新商品・新メニューの開発のため、企画・検討を行った。

〈 2 〉 じゃんぷ 生活介護

・安全安心な環境づくりに努めた。

・利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有として各利用者個別の健康状態把握に努めた。

・リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた。
(リハビリ的動作法、ストレッチ、ウォーキング等)

・日常生活上必要な生活能力の維持・向上に努めた。

・利用者個人の能力を最大限発揮できるよう作業・活動を提供し、自主性・自立性を高め、社会参画の場を増やしていくため、作業内容・活動内容の見直し・改善を行った。

活動例；アート、音楽、運動、歩行、買い物、紙すき、製菓の外装に関わる作業、
クッキーのタグ作り、クッキー配達、チラシ配り 等

2. ほっと 生活介護

・安全安心な環境づくりとして、個別に利用者の障害特性の把握に努め、環境配慮した。
また、塩津出張所の整備・開設を行い、より障害特性に応じた環境作りに努めた。

・利用者の健康維持・管理の徹底と情報共有として、看護・医療体制強化、各利用者個別の健康状態把握を見直し、スタッフの医療的知識・マニュアル作成に努めた。
また、LAULAU へ特殊浴槽を導入しサービス提供開始に向け、環境を整備した。

- ・主体性や社会性を育み、やりがいと達成感を得るべく、利用者それぞれに合った役割・仕事・活動の提供に努めた。
 - ・新規利用者を1名受け入れた。
 - ・リハビリ・機能訓練を実施し、利用者の身体能力の維持・向上に努めた。
(リハビリ的動作法、ストレッチ、ウォーキング等)
 - ・概ね月1回、ぱすてる班を対象に外部講師による音楽療法を実施した。
 - ・協調性や積極性を養うため月1回程度クラブ活動を実施した。
各班クラブ活動担当者による企画・立案で新たな活動・可能性を見出し、今後の活動強化・開拓に努めた。
 - ・全体ミーティング、各班ごとの会議を強化し、職員間での情報共有・支援力強化に努めた。
- (1) LAULAU・・・利用者の自己表現を尊重し、集団での活動を行う中で、自分の役割や居場所を見つけ、やりがいを感じ取っていただくため、活動内容の見直しを行った。また、利用者それぞれの活動場所の見直し、個別の活動・作業への支援見直しを行なった。
- ・新規利用者受け入れに伴う、環境整備と配置職員数など、施設運営整理を行った。
- (2) 塩津出張所・・・利用者個人の能力をより発揮できるように作業や活動を提供し、そのうえで、より自主的・自立的な社会参画を増やしていくため、作業内容・活動内容の見直しを行った。また利用者それぞれに合った形での、自立の方法を探り、地域貢献を目指し、社会参画を増やしていくため、スケジュールと本人提示用ツールの見直しを行った。



3. 共通事項

(1) 施設外活動

- ・太鼓クラブ

週 2 回 (火曜日・木曜日 15:30～ 30 分程度)

月 2 回 外部講師による指導を受ける。(1 時間程度)

- ・研修旅行の実施

主体性を育み、幅広い体験から社会性を高めることを目的とし研修旅行を実施した。
また、計画実施に利用者のアンケートやミーティングを導入し利用者の主体性を重視した。

今回は、2 つの異なる旅行を企画、利用者の意思を尊重し、社会参画の機会増加に努めた。

日 時 : 10/25～26、11/1

場 所 : 神戸 (神戸ハーバーランド、神戸動物王国)、大阪 (なんばグランド花月)



- ・お茶会の実施 月 1 回

楽しみながら礼儀作法を身に着けるため、外部講師より指導を受けた。

(2) 地域交流

- ・個人ボランティアを受け入れ、また、販売等を通じ様々な地域イベントにも積極的に参加した。

- ・トライやるウィーク、中学生受け入れ ほっと 2 名 すいーつ 2 名

- ・昨年に引き続き、フェスタはばたけ 9th に参加し、地域の方と交流し、ボランティアの方にも多数参加していただいた。

(3) 安全衛生・危機管理

- ・感染症 (インフルエンザ・O-157・ノロウイルス) 対策を強化し、衛生管理を徹底した。
- ・防災避難訓練を、2 回実施した。

(4) 職員研修

- ・法人内部で職員に対し、基礎研修等の充実を図った。
- ・外部講師を招いての研修会を実施し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った。
- ・各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った。

- ・各種専門職の資格取得の奨励を行った。

Ⅲ. 障害福祉サービス事業（生活支援）

基本方針

利用者が地域で安心安全に、そしていきいきと暮らしていくために、一人ひとりのニーズを的確に把握し、生活全体の充実を目指す。

事業報告

1. ヘルパーステーション はあと

・利用者が、地域生活に必要な知識、技術、態度、習慣を身につけるための支援を行った。

身体介護・食事介助・排泄介助・入浴介助・起居介助・服薬介助等日常生活に欠かす事が出来ないサービスを提供した。

家事援助・食事作りの援助・掃除（衛生面）の援助等自立した生活へむけて必要な援助を提供した。

行動援護・利用者それぞれに合った形での自立の方法を探り、外出を楽しめる様に努めた。行動障害に対処できるよう、ヘルパー個々の支援スキルの向上に努めた。

移動支援・自宅迎え後商業施設等へ出かけ、目的を持ち余暇を楽しむ事が出来る様に取り組んだ。男性新規利用者1名、女性新規利用者1名を受け入れた。



サービス名	登録利用者数	延利用者数	総利用時間
居宅介護	14 名	3,243 人	4,406.5 時間
行動援護	13 名	1,700 人	2,141.0 時間
重度訪問介護	1 名	248 人	544.0 時間
移動支援	13 名	220 人	614.5 時間

2. グループホームOHANA 共同生活援助

(1) 共同生活援助

・個々のニーズに沿った個別支援計画に基づき、利用者に対する支援の向上に努めた。

・相談、食事の提供、健康管理、金銭管理の援助、入浴・排泄等の介助、日中活動に関わる他の事業所や関係機関との連絡調整を通じて、日常生活全般の支援を行った。

・家族との信頼関係の強化や情報の共有を図り、適切な支援サービスの向上に努めた。

<入居者 19 名（あおー1 6 名、あおー2 7 名、にじー1 6 名）>

<総利用者数と総開所日>



共同生活住居名	総利用者数	総開所日
あおー1	1,919 人 (1,978 人)	365 日 (365 日)
あおー2	2,112 人 (2,116 人)	365 日 (365 日)
にじー1	1,942 人 (2,029 人)	364 日 (362 日)

※ () 内 平成 29 年度

(2) 短期入所

- ・短期的な入所を必要とする障害者児に対し、適切なサービスの提供に努め、緊急時にサービスを提供できるよう体制を整えた。

<利用者数と利用延べ日数>

共同生活住居名	利用者数	利用延べ日数
あおー2	3 人 (2 人)	26 日 (96 日)
にじー1	4 人 (3 人)	201 日 (174 日)

※ () 内 平成 29 年度

(3) サテライト (あおー1)

- ・利用者の、より自立的・自主的な生活のための環境整備・支援を行った。

3. つくし 障害児通所支援

- ・安全安心な環境づくりに努めた。
- ・利用児の健康維持・管理の徹底に努めた。
- ・個々のニーズに合わせた療育的内容・リハビリ的運動・機能訓練を実施し、利用児の自発的な力を引き出した。
- ・利用児が理解しやすく、活動しやすい環境配慮に努めた。



(1) 放課後等デイサービス

- ・利用児の状況に応じて、適切な技術をもって支援を行った。
内容：食事、整容、更衣、排泄 等
- ・利用児及びその家族が希望する生活や、利用児の心身の状況を把握し、適切な相談・援助を行った。
内容：学校・家庭訪問、保護者の会、職員ミーティング 等
- ・日常生活能力の維持・向上を図った。

内容：日常生活訓練、社会適応訓練、野外活動 等

・個別活動、集団活動、社会参加の充実を図り、利用児のステップアップに繋げた。

内容：絵画、公共施設の利用、自立するための集団活動、ワーク、カード支援、ソーシャルスキルトレーニング、音楽療法、機能訓練、TEACCHプログラム 等



(2) 児童発達支援

・日常生活能力の維持・向上を図った。

内容：排泄、更衣、靴の着脱、歯磨き、洗濯物たたみ 等

・健康管理の徹底を図った。

・活動の充実を図り、利用児のステップアップに繋げた。

内容：運動、学習、学校生活に向けての指導、TEACCHプログラム 等

＜登録利用者数 放課後等デイサービス 29 名 児童発達支援 1 名＞

	総利用者数	総開所日
放課後等デイサービス（平日）	906 人	166 日
放課後等デイサービス（休日等）	759 人	94 日
児童発達支援	23 人	23 日

※（休日等）は、土曜日・祝祭日・学校教育法施行規則に規定する休日

4. 共通事項

(1) 安全管理・危機管理

- ・感染症（インフルエンザ・O-157・ノロウイルス）対策を強化し、衛生管理の徹底については、個々の事業所で実施した。
- ・防災・避難訓練を年に2回実施した。

(2) 地域交流

- ・フェスタはばたけ 9 t h へ参加し、地域交流を図った。

(3) 職員研修

- ・法人内部で職員に対し、基礎研修等の充実を図った。
- ・外部講師を招いての研修会を実施し、支援スキルの向上、支援内容の見直しを図った。
自閉症スペクトラム支援研修 月1回
- ・各種研修への積極的参加を促し、モチベーション、意識の向上を図った。
- ・各種専門職の資格取得の奨励を行った。

IV. 法人運営

1. 理事会、役員会

平成30年 4月13日

第54回理事会

第1号議案 生活介護ほっと改修工事業者決定に関する事項

5月 8日

通常総会について 他報告事項4件

5月24日

第55回理事会

第1号議案 平成30年度事業計画及び活動予算に関する事項

6月 7日

通常総会について、他協議報告事項4件

7月 3日

第56回理事会

第1号議案 グループホーム新築に関する事項

8月24日

但馬ブロック研修会について 他協議報告事項4件

11月 8日

但馬ブロック研修会について 他協議報告事項4件

12月

平成31年 2月27日

但馬ブロック会議報告について 他報告事項4件

2. 総会、臨時総会

平成30年 6月17日

第14回通常総会

第1号議案 平成29年度事業報告に関する事項

第2号議案 平成29年度活動計算書に関する事項

監査報告

第3号議案 定款変更に関する事項

報告事項 平成30年度事業計画について

平成30年度活動予算書について

3. 会員 (平成31年3月31日現在)

正会員 61名

賛助会員 33名

寄附者 91件